

持続可能な水田農業政策に関する意見書

水田農業をめぐっては、今後、基幹的農業従事者が急減するなど生産基盤の弱体化が見込まれるなか、持続的な水田農業を確立するため、新たな食糧・農業・農村基本計画にもとづき、農業構造転換を集中的かつ強力にすすめていく必要があります。

また、最新の米需給見通しでは、令和9年6月末民間在庫量は適正水準を大きく上回る215～245万トンと見込まれる等、未だ米の生産・流通は混乱の最中にあります。

加えて、令和9年度以降の水田・畑作政策の見直しを控える等、重要な政策確立に向けた局面を迎えており、当面の対策とあわせて、生産現場の実態等を十分にふまえ、生産性向上の促進、経営安定の確保、安定供給体制の確立等をすすめていく必要があります。

つきましては、令和7年度補正予算や令和8年度当初予算において、下記の事項を実現いただきますよう強く要望いたします。

記

1. 当面の米需給および令和8年産対策

国の米需給見通しにおいて民間在庫の大幅な増加が見込まれる中、政府備蓄米の買戻し・買入れ方針を早急に示すとともに、適正備蓄水準への回復を機動的かつ計画的にすすめること。

2. 中長期的な水田・畑作農業政策の確立

- (1) 農業者・農地の確保と生産性の向上・低コスト化を推進するため、農地の大区画化や水利施設の整備、スマート農業技術や多収穫に向けた新品種の開発・普及などの施策を抜本的に拡充すること。
- (2) 水田活用の直接交付金等の現行予算の単なる組み替え予算とすることなく、「農業構造集中対策期間」にふさわしい水田・畑作関連予算の増額とその安定的な確保をはかること。
- (3) 令和9年度以降の水田・畑作政策の見直しにあたっては、作付け判断や営農準備の期間を十分に確保するとともに、生産現場や関係者が取り組みやすく、事務負担にも配慮した簡潔な制度・運用とすること。

また、農業者数の急減等が見込まれる中でも、持続的に米や各戦略作物の生産・安定供給が図れるよう、水田生産基盤の維持を後押しする支援に見直すこと。

- (4) 意欲ある多様な農業者の経営安定に万全を期すため、生産費高止まりの状況などコストに着目した新たな経営安定対策を構築すること。
- (5) 備蓄米制度について、備蓄水準（100万トン）以上を確保するとともに、価格急騰への対応とせず、大きな不作への備えとして目的を明確化するなど、必要な法改正とあわせて制度全体を強化すること。

また、「官民合わせた総合的な備蓄」のあり方については、需給に影響を与えない運用や適正な価格形成が実現できる買入れ・買戻しルールの設定に加え、機動的に供給ができる体制を構築するための民間事業者への支援や運用方法など、関係者の意見を十分踏まえて制度の検討を行うこと。

- (6) 高温障害等の異常気象に伴う生育障害や収量・品質の低下等の影響が甚大化するなか、高温耐性のある新品種等の開発・普及に向けた農業試験場への支援や、気候変動をふまえた品種・品目への転換等に取り組む産地への支援など、気候変動対策を抜本的に強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(令和7年12月16日可決)

衆議院議長	参議院議長	内閣総務大臣	財務大臣	農林水産大臣	意見書提出者
衆議院議員	参議院議員	内閣府副大臣	財務省副大臣	農林水産省副大臣	あて

石川県野々市市議会